

第24回 日本磁気歯科学会学術大会 The Japanese Society of Magnetic Applications in Dentistry

鳥居 麻菜

平成26年11月8日(土), 9日(日)に第24回日本磁気歯科学会学術大会が開催されました。

今大会は鶴見大学が主管として行われ, 大久保力廣大会長をはじめ, 鈴木恭典実行委員長のもと, 熱海ニューアカオにて開催されました。

開会の辞 大会長 大久保力廣教授



2日間で, 認定医申請 2題
一般口演 11題
特別講演 1題
教育講演 3題
全17題の発表が行われました。



私も今回の学会にて大学院生として初めて口演発表をさせて頂きました。緊張することもありましたが, とても良い経験となりました。

初日終了後は, 海が望める露天風呂につかり懇親会に備えました。



開催地が熱海ということもあり, 先生方には浴衣にて懇親会に参加して頂きました。



教育講演: 前田祥博先生 「技工操作での注意点」
シンポジウム: 高山慈子先生 「予後調査からみた磁性アタッチメントの現状」
一般口演: 岡山章太郎先生 「磁石構造体の義歯への固定法に関する研究」
鳥居麻菜 「試作した緩圧型磁性アタッチメントの維持力および被圧変位性」

懇親会途中では認定医の審査結果も発表されました。今回認定医申請を行われた明海大学 曾根峰世先生、日本大学 田畑有希先生ともに合格となりました。おめでとうございます！



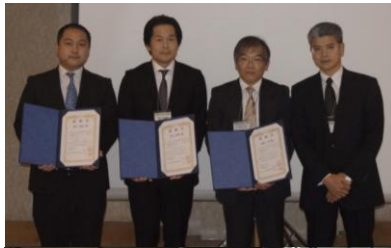
懇親会では本大会の参加品として鱒見進一理事長の似顔絵をあしらったおちょよこが配られました。

美味しい夕食に舌鼓をうちつつ、大学対抗のカラオケ大会を行ったりと、懇親会は大いに盛り上がりました。



2日目

2日目は教育講演「磁性アタッチメントの吸引力を向上させるために」よりプログラム開始となりました。



左から
梅川義忠先生
前田祥博先生
菊池亮先生



左から
中村和夫先生
高山慈子先生
大川周治先生
中村好徳先生



岡山章太郎先生

名誉会員になられた 2日目も活発な討論が行われました。
細井紀雄先生



2日間の学会終了後は鶴見大学の先生方のみで打ち上げが行われました。細井紀雄先生にも参加して頂き炉端焼きを食しました。主幹ということで大変なことも多々ありましたが、とてもいい経験となりました。最後になりましたが、このような機会を与えて頂いたことに感謝し、今後もより一層努力したいと思います。